

2018年上期 アルバイト・パート募集時平均時給調査レポート

■トピック

・三大都市圏の全職種合計について2018年10月には「1,047円」と過去最高を記録しており、2016年4月と比較すると実に70円も平均時給の上昇が見られる
慢性的な人手不足に加えて、最低賃金の大幅な引き上げの影響もあり継続的な時給上昇が起きていることがわかる

・三大都市圏の全職種合計について2016年4月からの前月比推移を見ると各年共通でのアップダウンのトレンドがあり、近い増減率で推移をしていることがわかる
例えば5-6月での夏の繁忙期に向けての時給上昇トレンド、10月の最低賃金改定による時給上昇、1月における年末繁忙期の後の時給の落ち込みなどはわかりやすい傾向として見られる

・各大職種ごとに前年同月増減率を見てみると、「販売・サービス系」「フード系」「製造・物流・清掃系」は2016年から2018年において年ごとにある程度共通のトレンドが見られる
一方で「事務系」「営業系」「専門職系」はそのような傾向はほぼ見られない

■調査概要

本レポートは、月次で発表している「アルバイト・パート募集時平均時給調査」について2016年4月～2018年10月の調査結果をまとめたレポートとなります。

当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『TOWNWORK社員』『fromA navi』に掲載された求人情報より、アルバイト・パートの募集時平均時給を集計しております。

<集計対象媒体について>

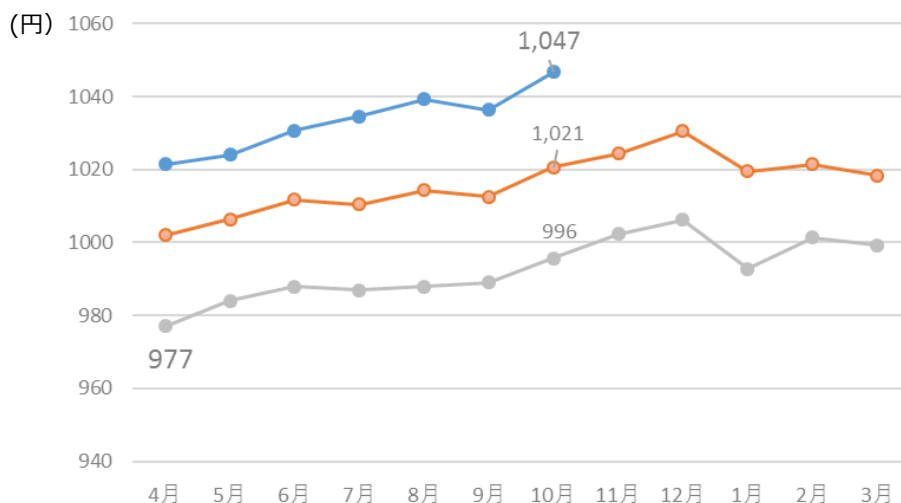
- | | |
|--------------|---|
| 『TOWNWORK』 | : 「家の近くで働きたい」「学校の近くで働きたい」など勤務地を重視する読者へ向けた無料の求人情報誌。全国で展開。 |
| 『TOWNWORK社員』 | : 「地元で社員になりたい」など勤務地と雇用形態を重視する読者へ向けた無料の求人情報誌。全国で展開。 |
| 『fromA navi』 | : アルバイト・仕事探しの総合求人情報サイト。関東、関西、東海エリアを中心に、北海道・東北、北陸・甲信越、中国・四国、九州・沖縄、リゾートの全8版を展開。 |

※以降ページに記載されております各数値については四捨五入しているため、増減額および率が表記内の数値を集計した結果と一致しない場合があります。

全職種合計【三大都市圏】

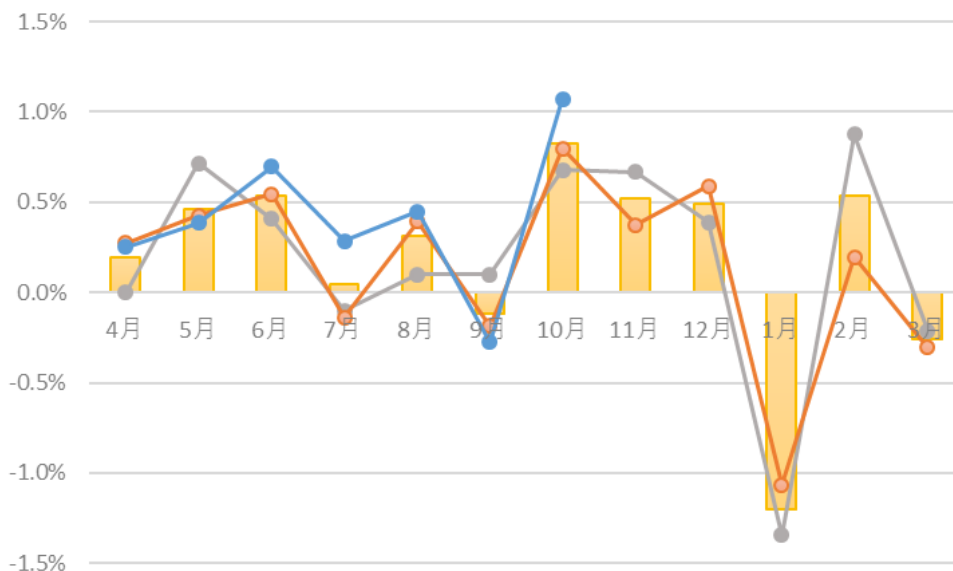
募集時平均時給推移

三大都市圏の全職種合計について2016年4月からの時給推移は以下になります。2018年10月には「1,047円」と過去最高を記録しており、2016年4月と比較すると実に70円も平均時給の上昇が見られます。慢性的な人手不足に加えて、最低賃金の大幅な引き上げの影響もあり継続的な時給上昇が起きていることがわかります。



募集時平均時給前月増減率

月ごとに時給変動がどれほどあるか、またその時給変動について年度ごとに差分があるかを見るために、前月比比較の推移をみていくことにします。三大都市圏の2016年4月からの前月比推移をまとめたグラフが下記になります。グラフを見ると各年共通でのアップダウンのトレンドがあり、近しい増減率で推移をしていることがわかります。例えば5-6月での夏の繁忙期に向けての時給上昇トレンド、10月の最低賃金改定による時給上昇、1月における年末繁忙期の後の時給の落ち込みなどはわかりやすい傾向として見られます。



2016年

2017年

2018年※10月まで

3年平均※11月以降2年平均

大職種ごとの前月差増減率【三大都市圏】

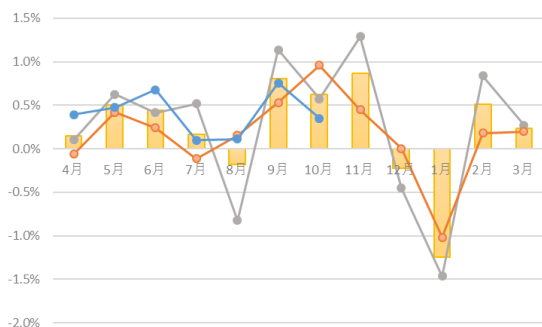
募集時平均時給前月増減率

大職種ごとの前月増減率推移グラフは以下になります。グラフを見ると左側の大職種群「販売・サービス系」「フード系」「製造・物流・清掃系」は2016年から2018年において年ごとにある程度共通のトレンドが見られます。一方で「事務系」「営業系」「専門職系」はそのような傾向はほぼ見られません。

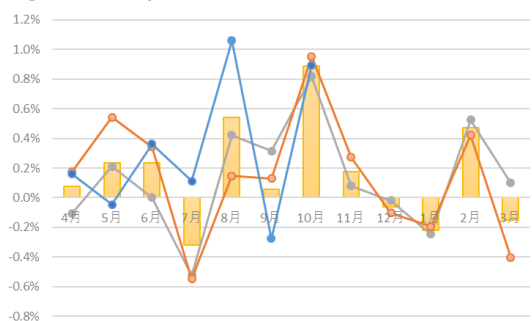
次以降のページでは各職種ごとに推移をもう少し詳しく見ていきたいと思います。

年ごとの共通トレンドが見られる職種

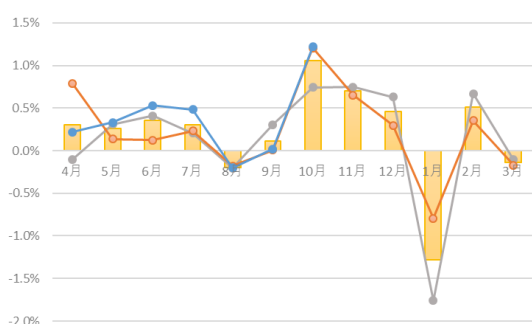
①販売・サービス系



②フード系



③製造・物流・清掃系

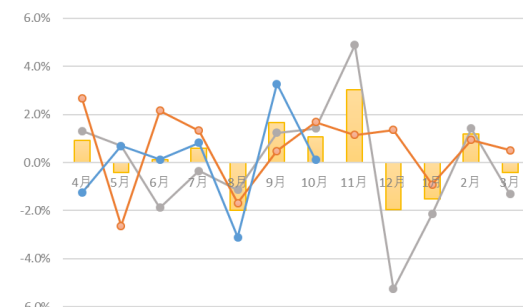


年ごとの共通トレンドがほぼ見られない職種

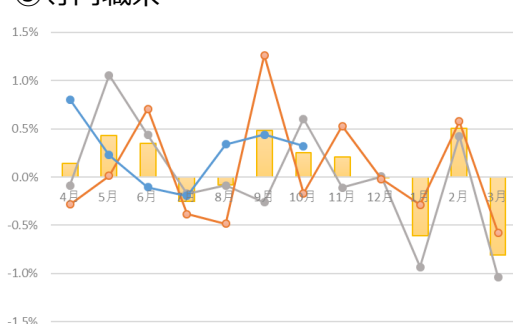
①事務系



②営業系



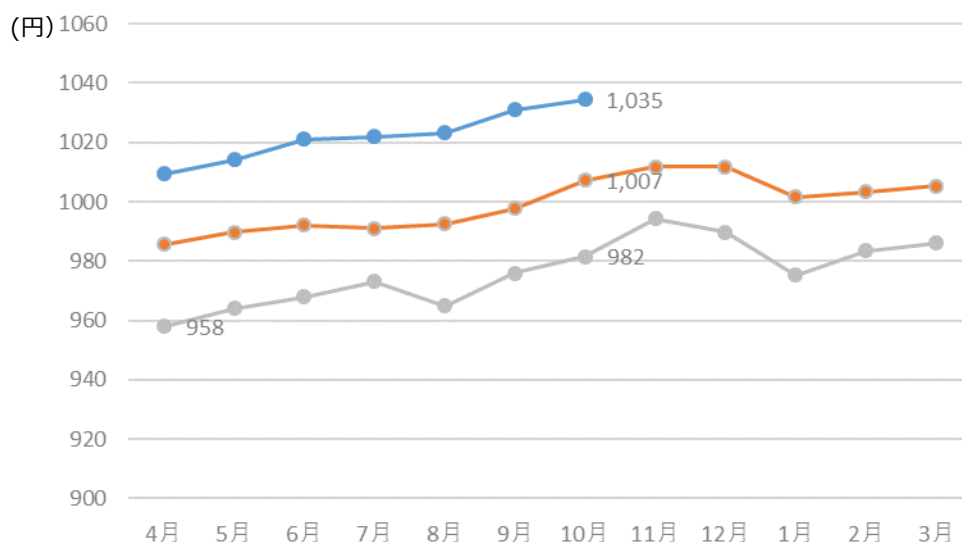
③専門職系



販売・サービス系【三大都市圏】

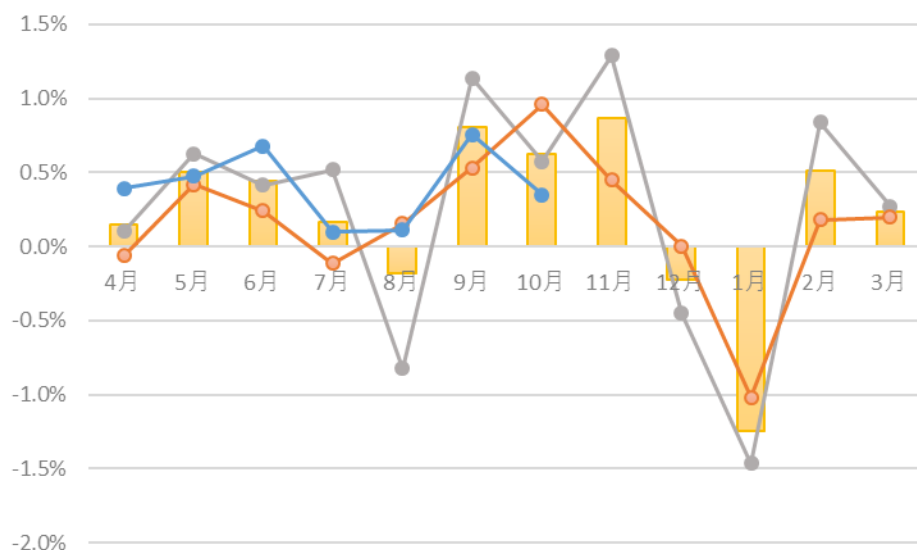
募集時平均時給推移

三大都市圏における販売・サービス系の2016年4月から最新月までの時給推移は以下になります。職種全体と同じく継続的に上昇が続いており、2018年10月に過去最高の「1,035円」を記録しています。2016年4月時点では「958円」でしたので77円上昇していることになります。



募集時平均時給前月増減率

販売・サービス系の平均時給前月増減率が以下になります。
5-6月で夏に向けた採用に向け時給上昇 9-10月最低賃金改定に合わせ大幅に時給上昇
11月そのまま年末に向けた採用に向け時給上昇、12月-1月繁忙期で時給上昇落ち着きを見せ、再び上昇に転じていくという傾向は毎年ほぼ共通しています。



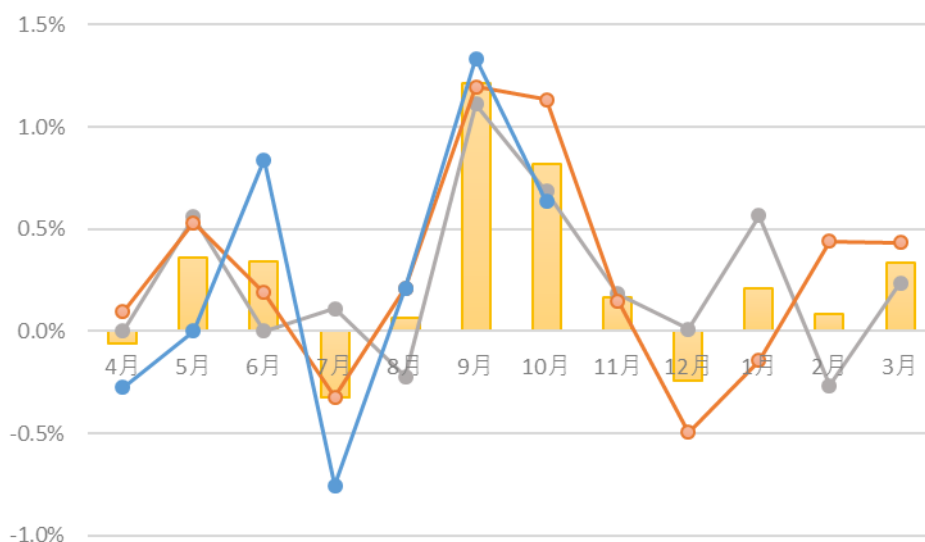
販売・サービス系小職種【三大都市圏】

販売・サービス職の中でも特に件数の多い、「コンビニエンスストア」「レジ」についても前月差増減率を見ていきましょう。

募集時平均時給前月増減率

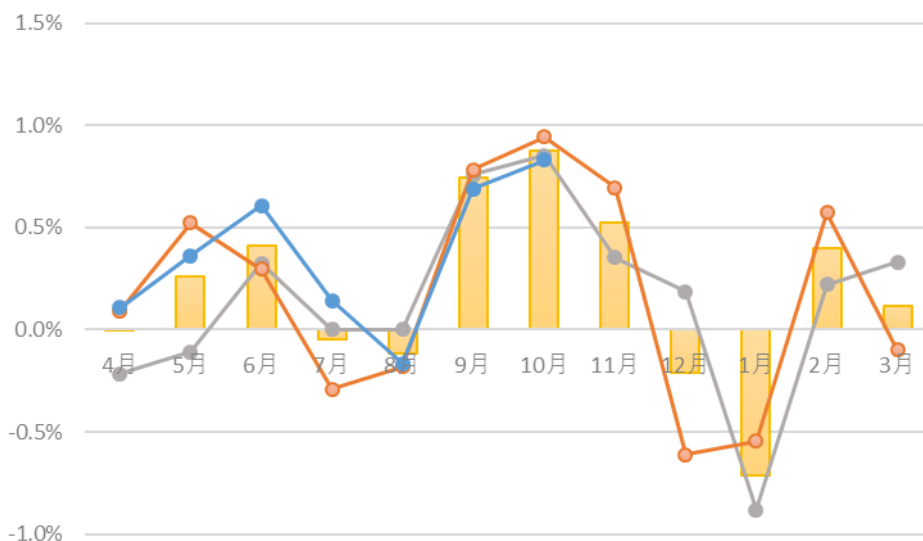
①コンビニエンスストア

年度により月ごとの推移に差分が見られますが、最低賃金改定額が発表されてから施行されるまでの9-10月の間に大きく時給が上昇する動きは共通しています。コンビニエンスストアの平均時給は相対的に低く、最低賃金近傍の求人が多いことからその動きが顕著になっていると推察されます。



②レジ

レジ職において、毎年の推移傾向は非常に近い動きをしていることがわかります。レジ職もコンビニエンスストアと同じく平均時給は相対的に低いため、最低賃金近傍の求人が多く改定施行のタイミングで大きく時給上昇が見られます。



2016年

2017年

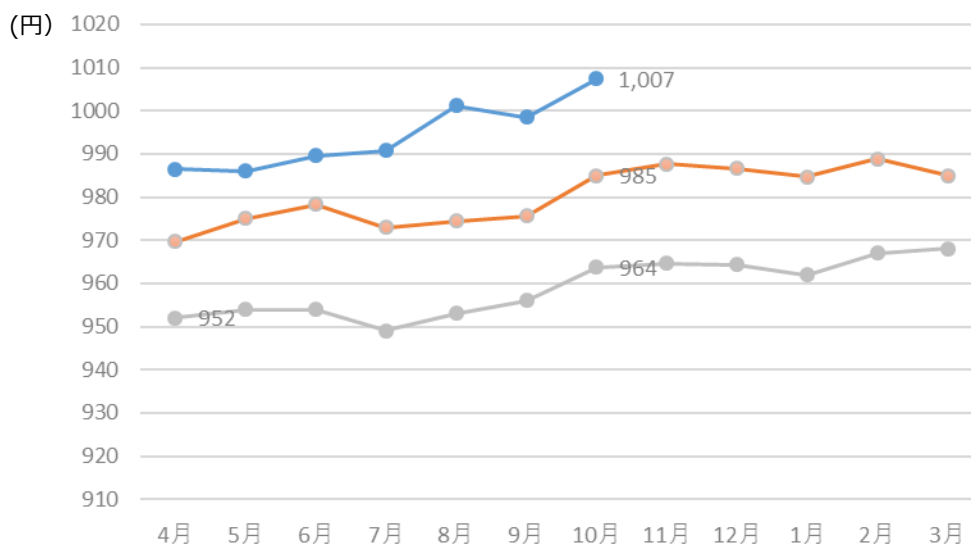
2018年※10月まで

3年平均※11月以降
2年平均

フード系【三大都市圏】

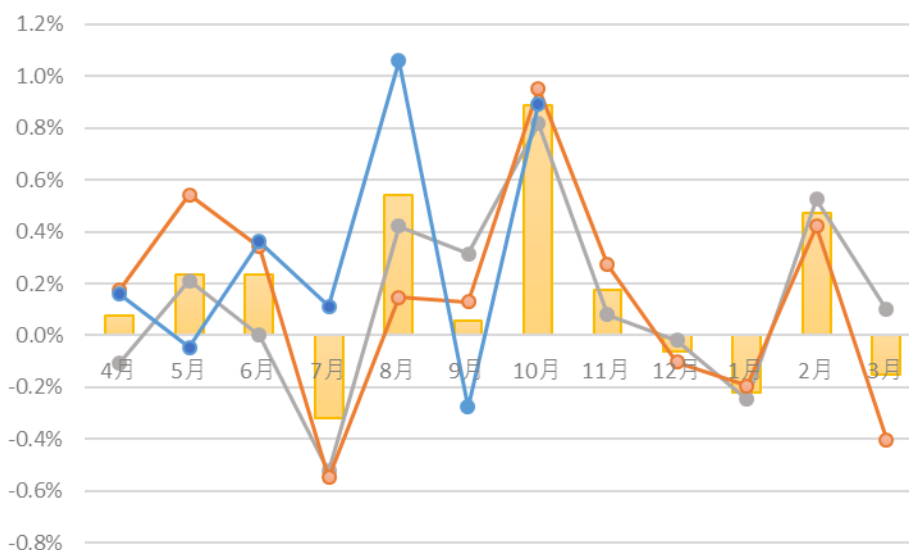
募集時平均時給推移

三大都市圏におけるフード系の2016年4月から2018年10月までの時給推移は以下になります。フード系職種については、2018年10月に「1,007円」と過去最高を更新しており、2016年4月から55円の伸びとなっています。



募集時平均時給前月増減率

フード系職種での募集時平均時給の前月増減率推移は以下になります。各年度ごとの推移を見てみると、4-6月は夏に向けた繁忙期の人員確保のために時給が上昇、7月が業務繁忙のため一旦募集が落ち着き、8月-10月にかけて再び最低賃金改定の影響を受けて時給上昇その後また年末の業務繁忙のため上昇が緩やかになっています。2018年においては、8月の時給上昇率が例年より大きいことがわかります。採用難易度の高い時給高めの案件が時給の引き上げに寄与したと推察されます。



2016年

2017年

2018年※10月まで

3年平均※11月以降2年平均

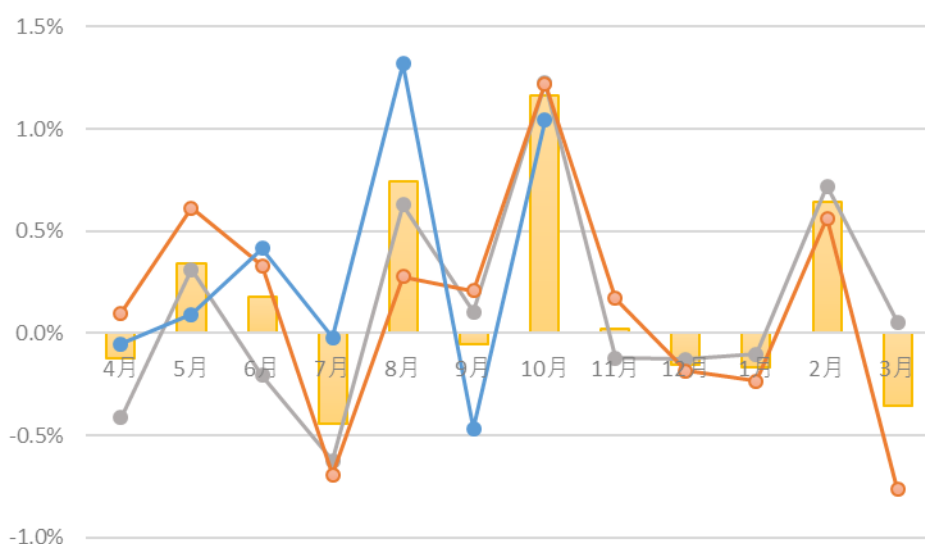
フード系小職種【三大都市圏】

フード系職種の中でも特に件数の多い、「ホールスタッフ」「調理・コック」についても募集時平均時給前月差推移を見ていきましょう。

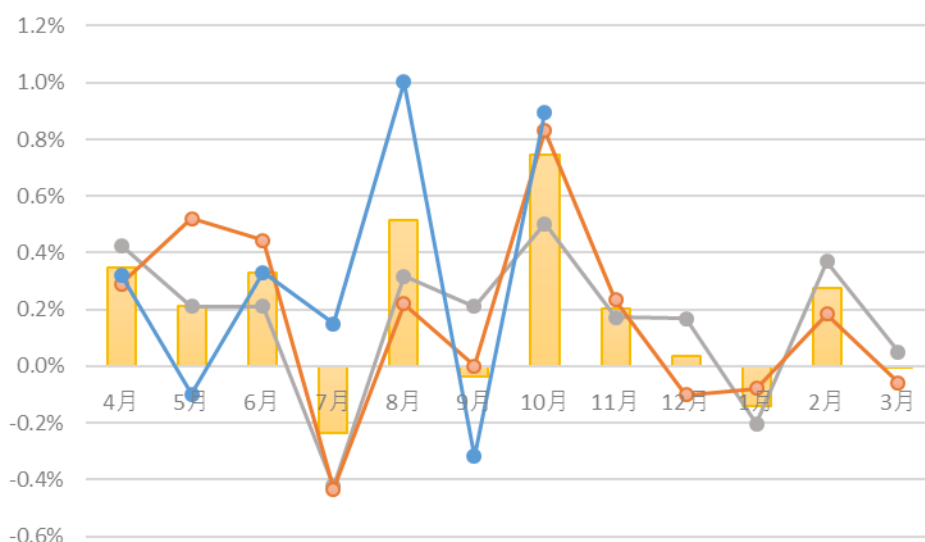
募集時平均時給前月増減率

「ホールスタッフ」「調理・コック」どちらも10月の最低賃金による時給上昇は毎年共通で起きており、またその後11-1月にかけて緩やかな推移になっていることがわかります。

①ホールスタッフ



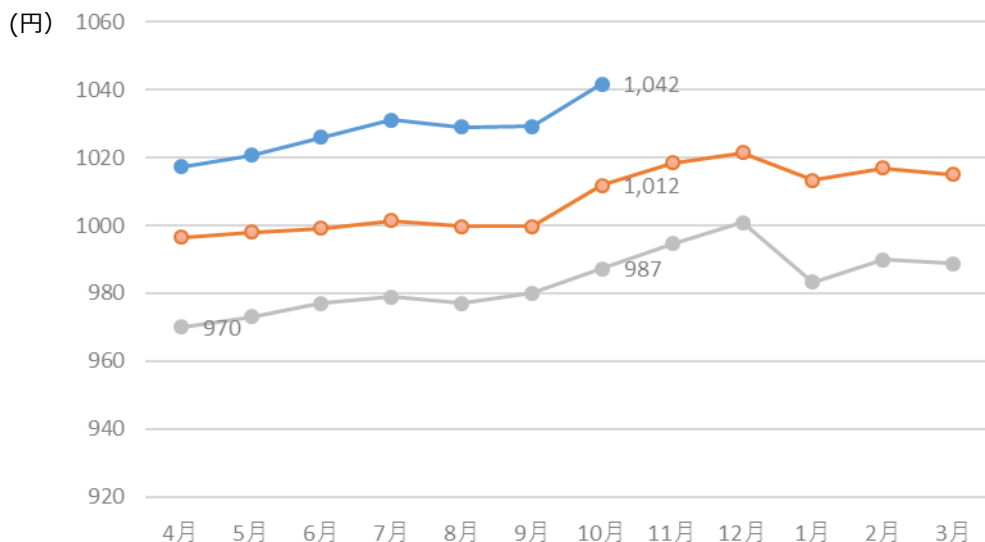
②調理・コック



製造・物流・清掃系【三大都市圏】

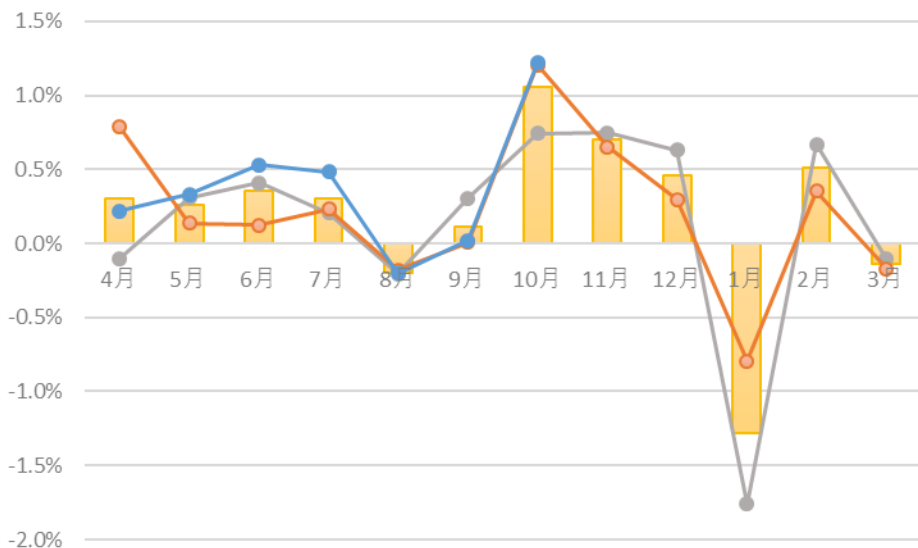
募集時平均時給推移

三大都市圏における製造・物流・清掃系の2016年4月から2018年10月までの時給推移は以下になります。製造・物流・清掃系は、2018年10月に「1,042円」と過去最高を更新しており、2016年4月から72円の伸びとなっています。



募集時平均時給前月増減率

製造・物流・清掃系職種での募集時平均時給の前月差推移は以下になります。物流系については夏と年末が大きな繁忙期になりますが、それに合わせて人員確保をするために4-7月と10-12月にかけて大きく時給上昇が起きていることがわかります。また12月までの時給上昇の反動で1月は前月増減率が大きく落ち込んでいることがわかります。



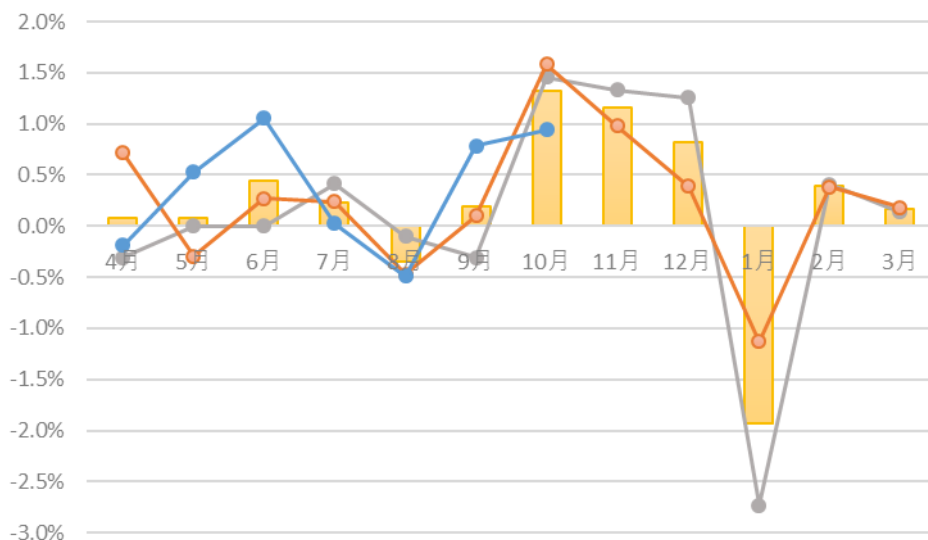
製造・物流・清掃系小職種【三大都市圏】

製造・物流・清掃系職種の中でも特に件数の多い、「物流作業」「ドライバー・配送・デリバリー」についても募集時平均時給前月差推移を見ていきましょう。

募集時平均時給前月増減率

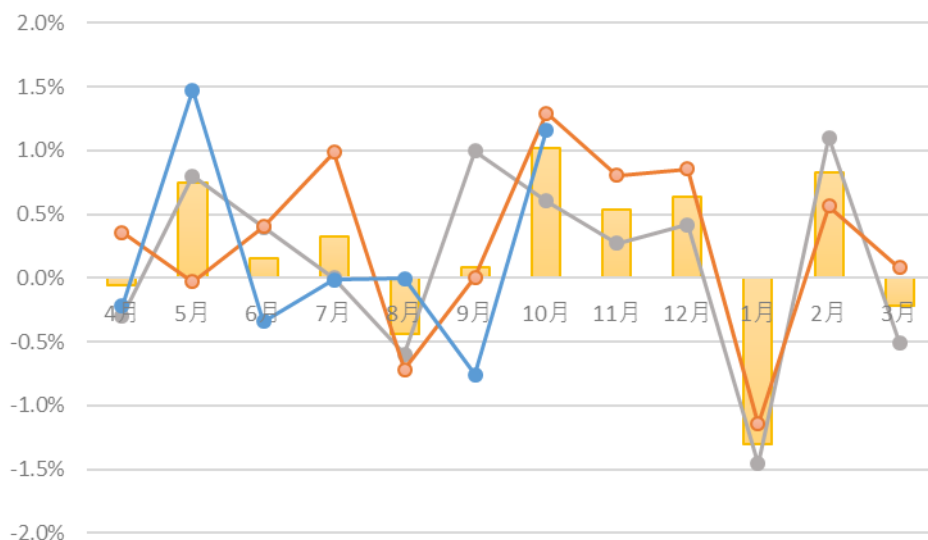
①物流作業

前項で説明した通り夏と年末の繁忙期に合わせて時給の上昇を伴いながら人員確保の動きが見られますが、2018年は2016年・2017年より夏にむけての人員確保のため大きく時給上昇が起きていることがわかります。



②ドライバー・配送・デリバリー

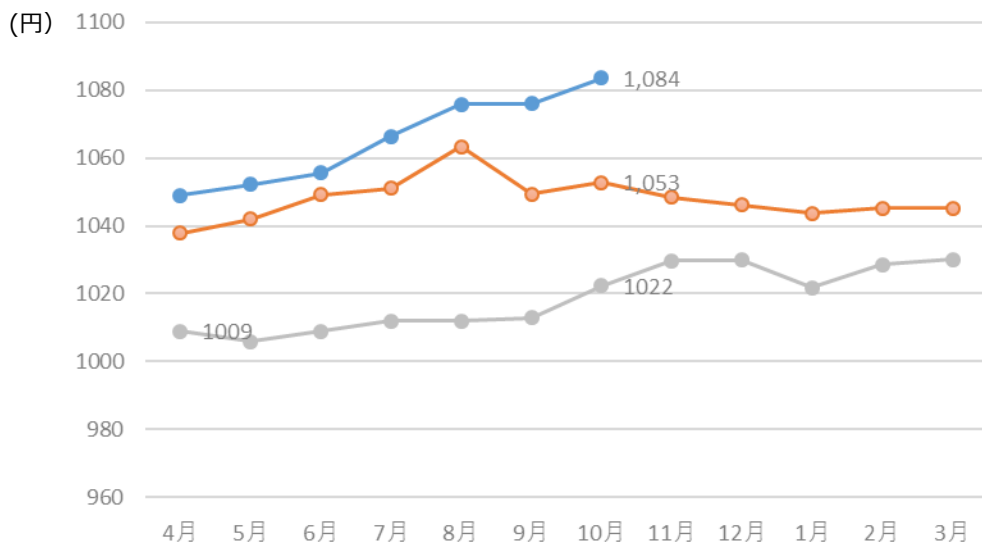
最低賃金改定後から年末までの時給上昇（10月-12月）にかけて時給上昇が見られることは共通していますが、その他の月についての動きについては年度ごとにばらつきが見られます。



事務系【三大都市圏】

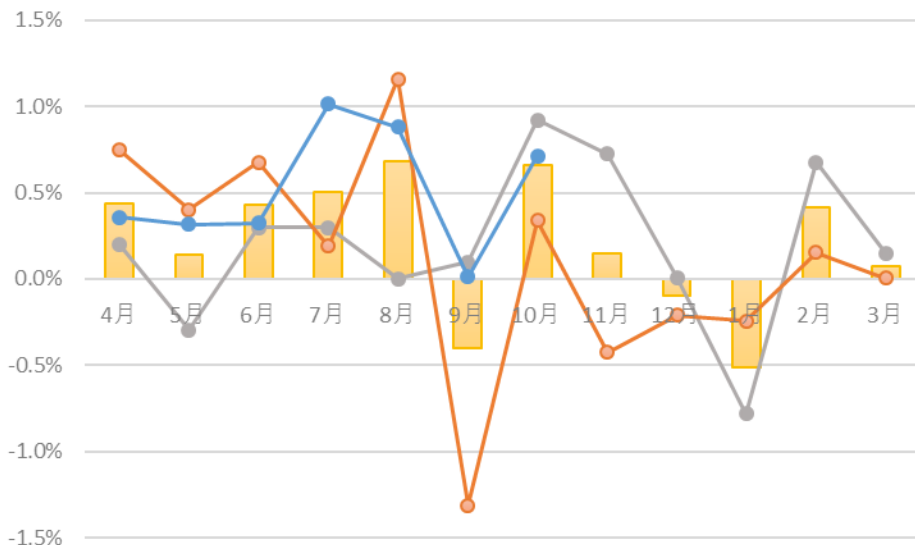
募集時平均時給推移

三大都市圏における事務系の2016年4月から2018年10月までの時給推移は以下になります。
事務系については、2018年10月に「1,084円」と過去最高を更新しており、2016年4月から75円の伸びとなっています。



募集時平均時給前月増減率

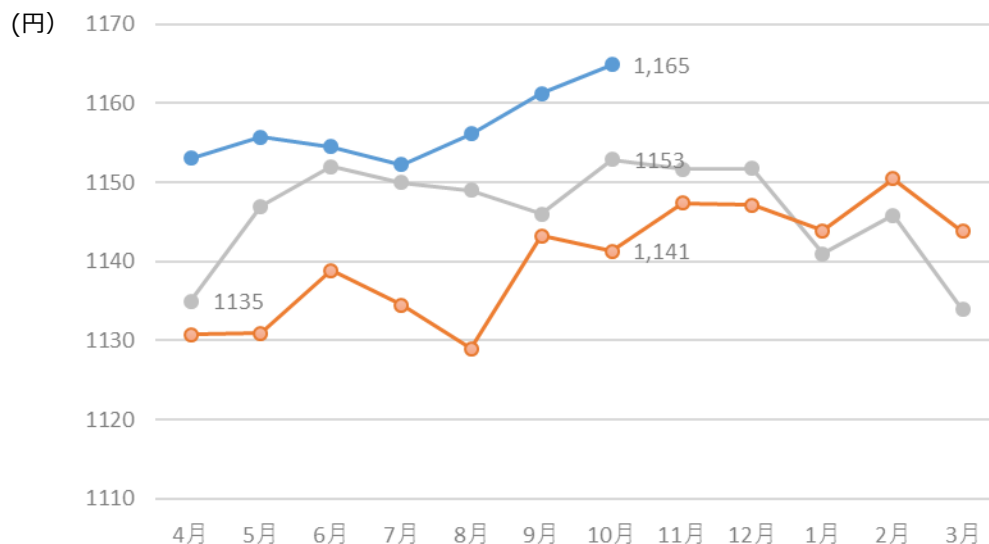
事務系職種においては前項のフード系、販売・サービス系、製造・物流・清掃系ほど毎年ごとの前月増減率のトレンドの共通性は見られません。上記職種群より時給が相対的に高く最低賃金改定などの影響が少ないことなども一因と想定されます。



専門職系【三大都市圏】

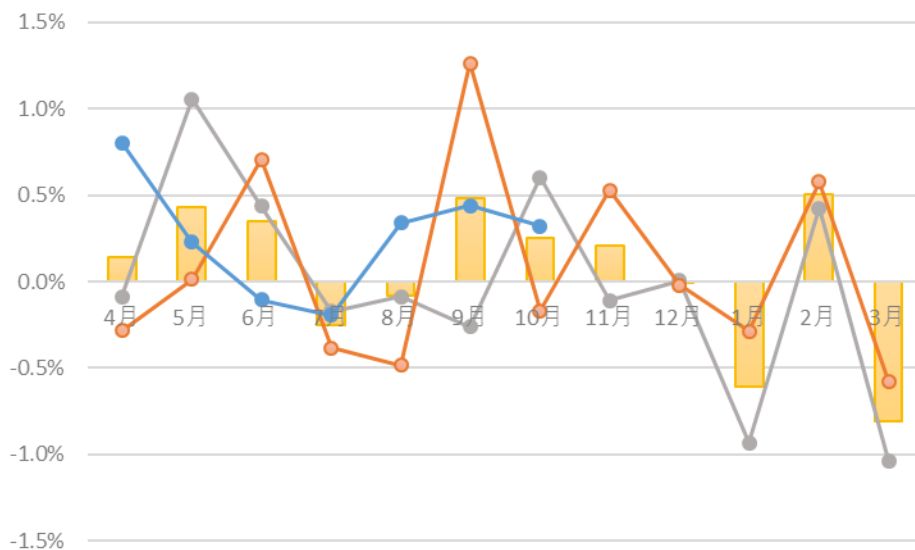
募集時平均時給推移

三大都市圏における専門職系の2016年4月から2018年10月までの時給推移は以下になります。
「専門職系」職種については、2018年10月に「1,165円」と過去最高を更新しており、
2016年4月から30円の伸びとなっています。



募集時平均時給前月増減率

専門職職種においては前項の販売・サービス系、フード系、製造物流清掃系ほど毎年ごとの前年同月増減率のトレンドの共通性は見られません。こちらと同じく、上記職種群より時給が相対的に高く最低賃金改定などの影響が少ないことに加え、専門職系の幅が広いいため各小職種ごとに推移の動きが異なっていることに起因しています。



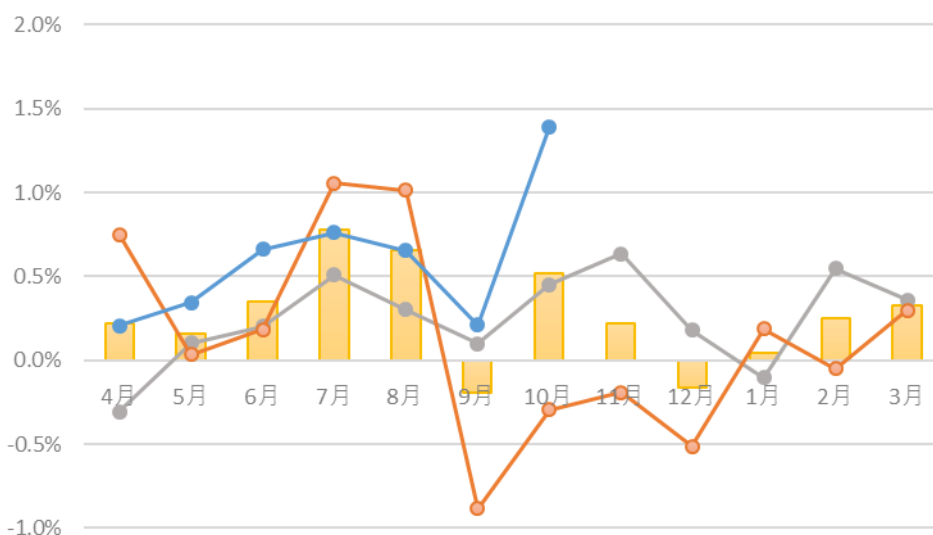
事務系・専門職系小職種【三大都市圏】

最後に、事務系と専門職系の中のトピック職種として「一般事務」「介護スタッフ」についても募集時平均時給前月差推移を見ていきましょう。

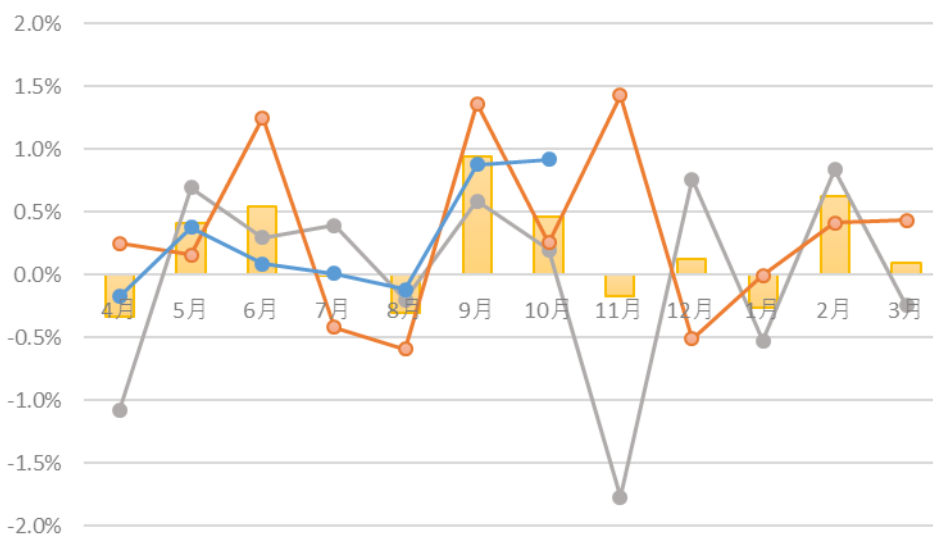
募集時平均時給前月増減率

下記2職種についても毎年での共通の前月増減率トレンドはありません。各年ごとに需給に応じて時給の変動が起きていると想定されます。

①一般事務（事務職）



②介護スタッフ（専門職）



2016年

2017年

2018年※10月まで

3年平均※11月以降2年平均